

野坂岳山麓 - 湧水湿地・ため池 -



水草の豊富なため池



センブリの生える斜面

選 定 理 由	・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）が多種確認されている
県レッドデータブック掲載種数： 18種（面積約160ha）	
自然の概要	山ぎわに、ジュンサイなどの水生植物が生育するため池があり、山麓の湧水がしみ出す斜面は、モウセンゴケなどの生育する湧水湿地になっています。また、山ぎわの草地にはセンブリが生育しています。
保全すべき主な環境	湧水湿地、ため池、草はら（センブリの生育する草地）
自然保護関係法の指定	野坂山鳥獣保護区（一部）

該当地の位置



里の生き物紹介 センブリ（リンドウ科）

日当たりのよい草地に生え、8～11月に白い花を咲かせます。葉をちぎって噛むと強い苦みがあり、昔から健胃薬として有名です。乾燥させて水出しするときに、千回振り出しても苦みがなくなるので千振といい、当薬ともいいます。

センブリは定期的な草刈りのある、背の低い草地に生えるため、背の高い植物に覆われて周囲が暗くなってくると見られなくなっていきます。

保全すべき環境に生息・生育している生物



ジュンサイ
県域準絶滅危惧
腐食栄養または貧～中栄養の湖沼やため池に生育



モウセンゴケ
要注目
日当たりの良い酸性湿地に生育



ハッチョウトンボ
要注目
日当たりのよい湧き水のある湿地や休耕田に生息



エゾトンボ
要注目
比較的草地化の進んだ放棄水田で生育し、周辺林で採餌



センブリ
山野の日当たりの良い草地に生育